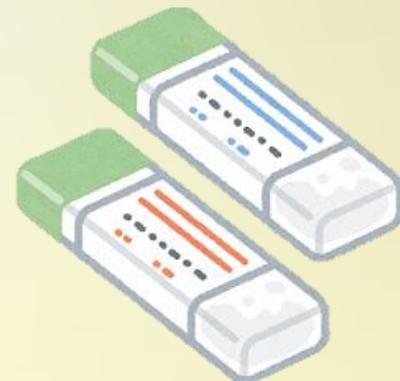
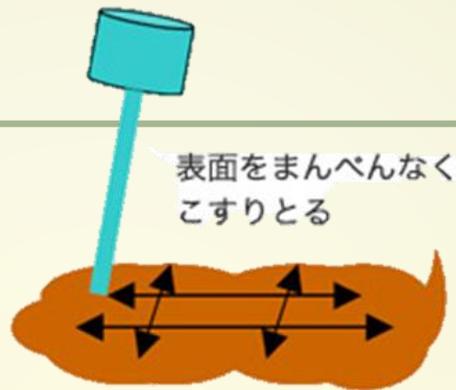


③



解説 

表面をなでるように採便します。



【大腸がん検診とは？】

- 2日間の便を容器に採り、便が大腸内でがんやポリープなどと接触することによって生じた出血の有無を調べます。目には見えない、微量な出血でも感知できる検査です。
- 大腸の壁に接しているのは便の表面なので出血があれば便の表面に付着します。そのため、「刺して便を採取」するのではなく、「表面をまんべんなくこすりとって採取」してください。